



夢ある将来への計画

第3章 人々がふれあう交流のまちづくり

南部町は多くが中山間地であり、いくつかの小さな集落が点在して少人数でありながらも地域を形成しています。それぞれの地域は、伝統やしきたり、祭り事など人と人をつなぐ仕組みを持っています。

南部町を発展・活性化させるには、この仕組みを生かした新たな方針・方策を盛り込む必要があります。

故郷の文化を大切に誇りに思うことが交流の基礎にならないと考えます。

交流の基本は故郷を大切にすることであり、故郷を愛し、理解することなく他地域や国外との交流は望めません。交流の基盤として故郷の魅力再発見に努めます。

南部町全体の一体感の醸成を1日でも早く成し遂げるためにも、旧町間の交流を進める全町を挙げたイベントの開催を検討しなければなりません。

また、情報通信基盤の整備や公共サービスの高度化を進め、公共交通網や道路網の整備、及び上下水道普及の向上を図るなど、住民参画のまちづくりにより、様々な要求・要望に対応した総合的な定住対策により、人々が快適で豊かにいつまでも安心して暮らせる交流とゆとりのあるまちづくりを目指します。